

(様式3)

会議の開催結果について

1 会議名	令和4年度第1回河内長野市高齢者保健福祉計画等推進委員会
2 開催日時	令和4年8月19日(金)～令和4年9月20日(火)
3 開催場所	書面会議
4 会議の概要	1. 河内長野市の介護保険事業報告について 2. 地域包括支援センターの事業運営状況について 3. その他
5 公開・非公開の別 (理由)	非公開 (コロナ感染防止対策の観点から書面会議としたため)
6 傍聴人数	
7 問い合わせ先	(担当課名) 福祉部地域福祉高齢課 高齢者支援係 (内線 389)
8 その他	

*同一の会議が1週間以内に複数回開催された場合は、まとめて記入できるものとする。

令和4年度第1回河内長野市高齢者保健福祉計画等推進委員会（書面開催）について（報告）

1. 案件① 河内長野市の介護保険事業報告について

- ・意見なし（7人）
 - ・意見あり（2人）
- 件数：4件

	ご意見	市の考え方
1	<p>◆近隣市、大阪府、全国と比較して高齢化率は高いが、居宅サービスの割合が高く、特別養護老人ホームの割合が低い。</p> <p>また介護保険認定を受けているが、サービスを利用していない人の割合、特に要支援1、要支援2が高くなっていることがわかりました。その理由について分析されておられましたら教えてください。</p>	<p>◆要支援1・2の場合、現在は介護サービスの利用なく生活できている人もおられますが、今後、状態が悪くなった場合を想定し、即時に介護サービスの利用を開始できるように、介護認定を受けておきたいと考えている人がいることも理由の一つではないかと考えられます。</p>
2	<p>◆介護給付費の推移について</p> <p>計画値を下回ることについて</p> <p>介護予防事業の普及により、要支援や要介護状態になる高齢者が減少したのか、いわゆる健康寿命が伸びたのか</p> <p>また、介護保険の介護サービスだけでなく新たに地域で生まれ生活支援や移動支援などの社会資源の活用が浸透しつつあるのか</p>	<p>◆ご意見いただきましたように、介護予防事業の普及等により、要介護認定者自体が計画値を下回ったことに加え、地域で生まれた生活支援や移動支援などの社会資源の活用が広がったことも考えられます。</p>
3	<p>◆介護保険の状況</p> <p>介護費用の状況</p> <p>施設サービスの利用が低く、居宅サービスの利用が多いことについて</p> <p>（一例）施設を利用したいができないので、居宅サービスになっているのか</p>	<p>◆ご意見の中で例示いただきましたように、特養の待機者が一定数おられること。また、近年ではサービス付き高齢者向け住宅や有料老人ホームなどの住宅型（居宅サービス）の施設が増加してきていること等も考えられます。</p>
4	<p>◆サービス受給率の状況</p> <p>認定を受けているがサービスを利用していない人の割合が高いことについて利用していない理由は？</p> <p>前段で記した地域支援等を利用しているからか</p>	<p>◆上記1の理由とともに、本市の特徴として、施設入所よりも自宅での生活を選択する傾向があることが考えられます。</p> <p>例えば、病院に入院中、退院してからの自宅での生活に不安があり、介護サービスが必要であることを想定して認定申請を行ったが、実際には退院時にサービス利用が不要な状態であったこと等も考えられます。</p>

2. 案件② 地域包括支援センターの事業運営状況について

・意見なし（7人）

・意見あり（2人）

件数：2件

	ご意見	市の考え方
1	◆数多くの地域包括支援センターで介護予防事業を実施されていると思います。 特に西部地域包括支援センターは、認知症高齢者支援事業を多く実施していることがわかりました。	◆各地域包括支援センターが主催し、地域の身近な公園や市役所フルル広場等の市内各所で、介護予防体操等を実施しています。 引き続き、身近な場所での介護予防活動の取組み等を進めていきたいと考えています。
2	◆「介護予防の推進」や「障がい福祉との連携」など今後の事業推進で地域包括支援センターや社会福祉協議会、関係機関とより一層連携深め、支援が必要な方々に対して、切れ目のない支援体制を構築することが重要と考えています。	◆地域包括支援センターに求められる役割は幅広く、かつ複雑化しており、更なるセンター機能の充実が必要となっています。 より一層、医療・介護・福祉等の関係機関の連携を強化し、切れ目のない支援体制の構築を進めていきます。

3. その他（自由記載）

件数：5件

	ご意見	市の考え方
1	◆当保健所では、昨年度に高齢者施設における「アドバンス・ケア・プランニング（以下、ACP）に関するアンケート」を実施しました。地域や施設における看取りなどの取り組みを推進するために、医療や介護が必要になるなどの変化があった場合だけでなく、健康な時からのさらなる啓発が重要だと考えます。貴市においてACPの取り組みや地域の課題がありましたら教えてください。	◆ご意見いただきましたように、アドバンス・ケア・プランニング（ACP）につきましては、健康な時からの啓発が重要であると認識しています。 「マイ・ノート（河内長野市版エンディングノート）」を活用し、地域の講座等で啓発を行っています。 また、今年度、「マイ・ノート」を改訂予定であり、今後も引き続き普及啓発に努めていきます。
2	◆コロナ禍の中、高齢化も進み、地域包括支援センターは、日々の困り事や介護の事等に真摯に取り組まれ、大変に心強い存在だと思えます。 しかし、認知度はまだまだ低いと思われれます。（専門外の市民にとっては）宜しく願います。	◆広報パンフレットを作成する等、地域包括支援センターの周知を図ってきましたが、今後も広報パンフレットや地域活動等のあらゆる機会を通じて、地域包括支援センターの周知に努めていきます。
3	◆特に介護予防について、国が示す指針に深い関心を持ちます。本市でもニーズ調査が予定されていますが、調査のみならず、市内での広汎かつ実効性の高い予防推進にみなで知恵を絞っていったらと考えています。	◆ご意見いただきましたように、ニーズ調査の実施のみならず、地域の実情に応じた多様な主体による活動を推進するとともに、効果的な介護予防事業の推進に努めていきます。
4	◆市内の包括センターが市民の良き相談所となられていることよく分り感謝です。	◆高齢者を支える身近な総合相談窓口として、今後更なる機能強化を図っていきます。
5	資料2-2 P.1 令和3年度人口10,1276→101,276 (1行目)	◆ご指摘ありがとうございます。 修正したものを同封いたしますので、申し訳ございませんが、差換えをお願いいたします。